

第41回“木材の実用知識”講習会開催のお知らせ

木材利用の一層の拡大に向けて

—追い風に乗るための課題と展望—

昨今、地球温暖化防止のための森林保全の必要性と人工林蓄積量の増加を背景とし、木材需要拡大に向けた産学官の取り組みが活発に行われています。2016年の国産材自給率は34.8%と1986年と並ぶ30年ぶりの水準に回復したところです。また、2020年に予定されている東京オリンピック関連施設の整備には多くの国産材利用が計画されています。このように木材利用には追い風が吹いているようですが、蓄積が増えつつある大径材の活かし方、非住宅木造建築における木材調達、国産材 JAS 製材の供給、CLT の生産・建築の普及など、追い風に乗るために解決すべき課題は山積みです。

そこで、今回の「木材の実用知識」講習会では、森林・林業・木材産業に関わる産学官の木材利用拡大に向けた取り組みを俯瞰し、今後のポイントになると考えられる木材調達、大径材・A材利用、木の良さ（木育）、CLT 製造・建築にかかわるテーマを取り上げ、一層の木材利用拡大に向けた課題について学習する機会を持つことにしました。

木材の生産、流通、木材製品の開発・製造に携わっている方々、地方公共団体の担当者の方々はもちろん、住宅分野、大学・試験研究機関の方々も奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成30年2月23日（金） 11:00～16:20

場 所：木材会館7階ホール（東京都江東区新木場）

主 催：公益社団法人日本木材加工技術協会

後 援：（一社）全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、
（公財）日本住宅・木材技術センター、日本繊維板工業会、（公社）日本木材保存協会、
日本木材防腐工業組合、（一社）日本木工機械工業会、（一社）日本CLT協会

受講料：会員16,000円、非会員26,000円（テキスト代含む。後援団体の会員は、会員扱いと致します。また、今回入会申込み者は会員扱いと致します。）。

定 員：100名

〆 切：平成30年2月20日（火）（定員に達し次第締め切らせていただきます。）

申込方法：当ホームページ（<http://www.jwta.or.jp/>）からお申し込み下さい。

プログラム：

11：00～11：10 開会挨拶（公社）日本木材加工技術協会会長 服部順昭

11：10～12：00 木材調達の課題と展望—持続的な木材調達に向けて—

筑波大学生命環境系 立花 敏 氏

12：50～13：40 国産材製材の課題と取り組み—大径材・A材の利用促進に向けて—

森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 伊神裕司 氏

13：40～14：30 「木の良さ」をデータで表す—内装への木質材料の利用拡大に向けて—

東京大学大学院 農学生命科学研究科 恒次祐子 氏

14：40～15：30 国産材 CLT の製造コストシミュレーション—CLT 需要拡大に向けて—

北海道立総合研究機構 森林研究本部林産試験場 古俣寛隆 氏

15：30～16：20 国産材 CLT 建築の現在—CLT の普及に向けて—

（一社）CLT 協会 河合 誠 氏